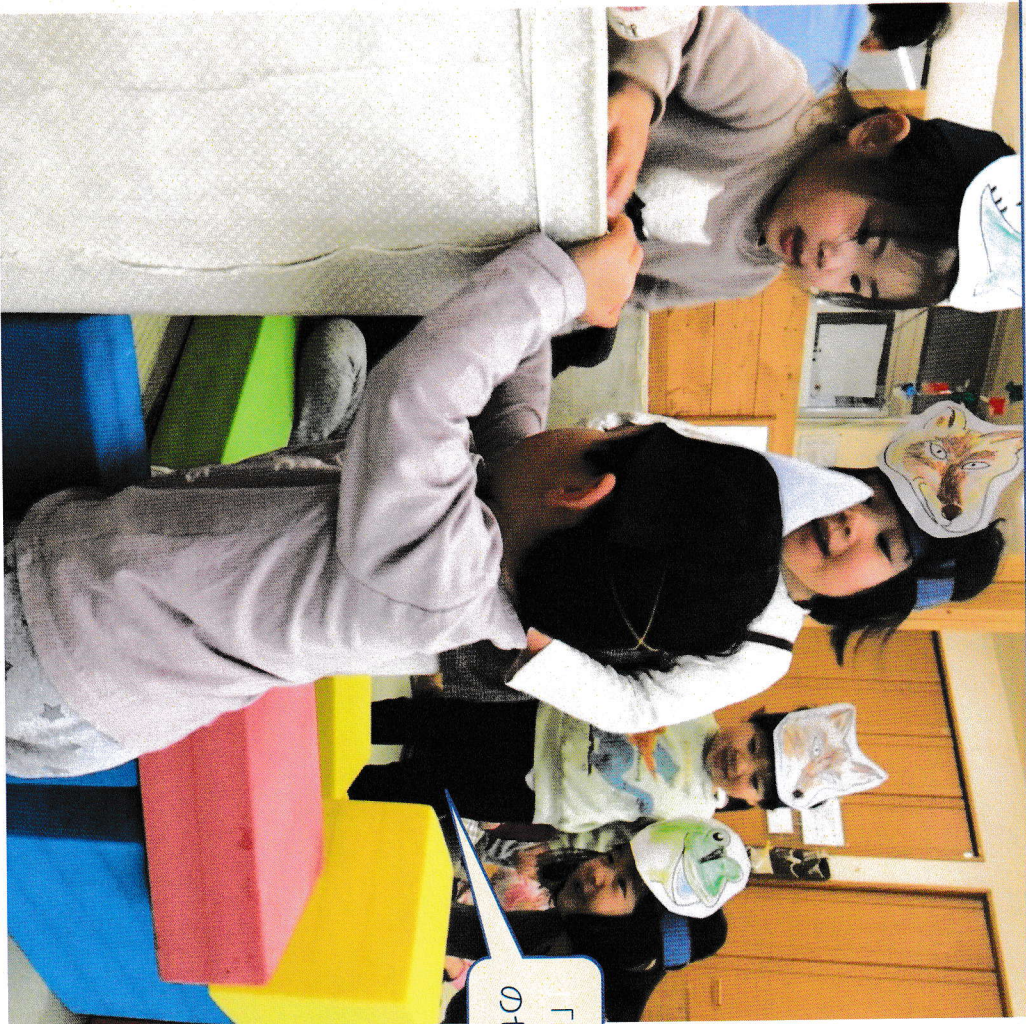


お面をつけて

ばなな組、みかん組さんは劇遊びの会があり、遊びの中で絵本の世界を楽しんでいます。

その様子を見学することが楽しみの一つになっていた子どもたち。

お面を用意すると、僕(私)たちもできるよと、なりきり遊びが始まります。



「いや、どうしても入ってみせる！」
のセリフがお気に入りのお友だち。



「わんわん」と犬の声がきこえたら、
てぶくろから一斉に逃げる動物たち。
今か今かと待っているのが楽しいようです

お面は付けているのに、じっと てぶくろを見つめて入ってこないお友達がいきました。

理由を聞くと「まだウサギさんがはいってないから」。

絵本の物語をよく覚えていて、その通りに入りたい気持ちからの行動でした。

自分のなりたい動物が決まっていて、朝からお迎えのその時まで、

お面をかぶったままで過ごす子もいます。

毎日続いている なりきり遊び、子どもたちの姿を柔軟に受け止めながら

より絵本の世界を楽しんでいます。